

そんな街だより

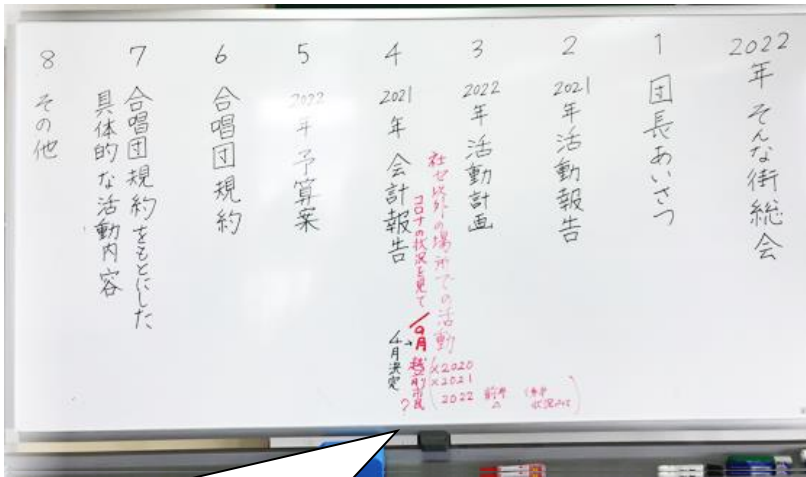
一人
ひとりが
創り手に
なるう

仲間と
歌えば、
そこに笑顔が
生れる

そんな街いいな合唱団事務局：910-0016 福井市大宮6丁目1-23 小川弘美
電話(小川・携帯)：090-8092-0961 E-mail：oh731lion@gmail.com
URL：http://hiropii.web.fc2.com/

二〇二二年総会が三月に行われました。

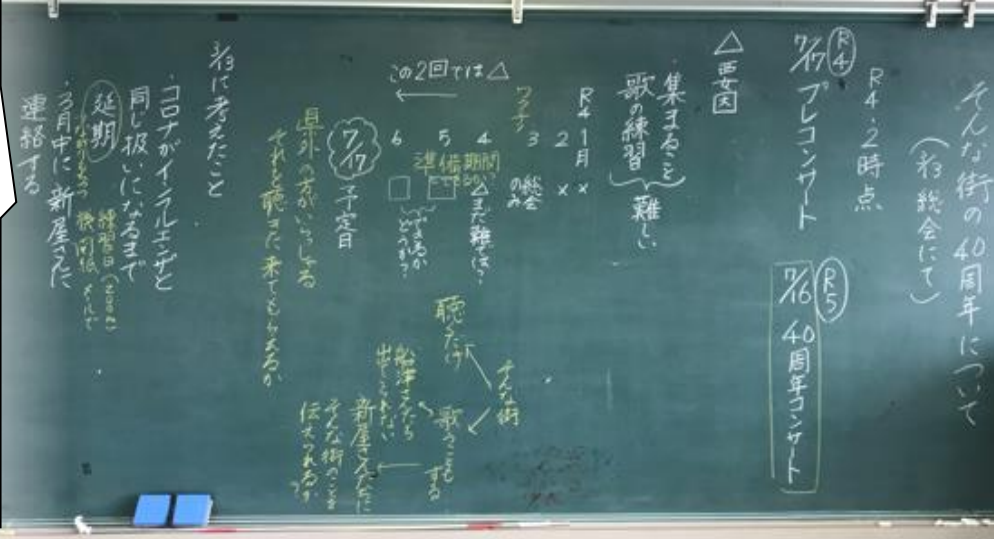
三月十三日、二〇二二年の総会が行われました。コロナのため、一月、二月と練習中止となり、三月もどうかと心配されましたが、歌は歌えなくても、集まって総会はしようということになりました。毎回、次の練習は、集まれそうなコロナの状況なのか、心配したり相談したり・・・本当に早く、コロナの心配なく毎月の練習ができる時がきてほしいです。



今年の社会福祉センター以外の場所での活動をどうするかについては、前半は、中止、後半は、コロナの状況を見て考えるということになりました。



七月十七日に開催を予定していた「プレコンサート」は、コロナがインフルエンザと同じ扱いになるまで延期するということになりました。新屋さんたちには、そんな街の機関紙などを送り、つながりを持ちながら開催できるのを待ちたいと思います。そんな街では、そんな街らしさを伝える歌、新屋さんたちと一緒に歌える歌を練習していきます。



桜と鯉のぼりとわ・た・し

春ですネ。近くの神社は桜のじゅうたん包まれています。

コロナ君が暴れている中、今年も秋祭りは中止。代わりに子供の日を間近かに控え、鯉のぼりが元気に泳いでいます。この日は小さいお子さん連れの夫婦も観に来ていてほのぼのとした気持ちになりました。暗いニュースが多い中で、桜と鯉のぼりが私をやさしく、包んでくれました。日々いろんな事はありますが、少しでも今の楽しい生活が長く続けられたらいいなと思います。皆さんは、お花見しましたか？鯉のぼりを見ましたか？

現実から、ちよつと一息搦きませんか？

(H)



SさんのFacebook (2019年4月3日)

泣けてしまう、

足利市の コールすまいる合唱団が5月19日の「ふれあいのつどい」というお祭りで「星屑の物語」を歌ってくださるそうです😊

—昨年 音種♪でなりさんからご縁をいただいたNさんに歌詞をお預かりして作った曲。仁木さんは筋ジストロフィーを患い、出会った時にはもうほとんど寝たきりでしたがその状態で書かれた歌詞のどこまでも星空に広がっていくような思いの美しさに打たれました。心は魂は自由だと教えてもらった気がします。その歌を 障がいのある方も一緒に歌う コールすまいる合唱団でとりあげてくださり 今度発表してくださるとのことです。



Yさんのお知らせを以下に転載させていただきます。

「ふれあいのつどい」のお知らせ

5月19日(日曜日)、足利市民体育館で、市内の福祉施設とボランティア団体がいろいろなお店を出店するお祭り「ふれあいのつどい」があります😊

私の入っている「グループきずな」は、焼き芋と大学いも(うまくできたら)の販売をします♥体育館内のステージでは、私の入っている「コールすまいる合唱団」の発表もあります。今回は、いつもの曲にプラスして、「グループきずな」の立ち上げメンバーのNさんの詩にシンガーソングライターのSさんが曲をつけた曲「星屑の物語」を歌うことになりました。仁木さんは、10年以上入院しています。人工呼吸器がついているので、外出も出来ません。かすかに動く手でパソコンを使い、作った心のこもった詩です。お時間のある方は、ぜひ聴きにきてください。

星の数だけ あなたの思い
弾 (はじ) けるように
明日を信じて 歩んでいこう
いくつもの 流れ星流れてゆく
キラッと輝く瞳
手を合わせ みんな合わせて
たったひとつの願い
届け未来へ…

羽ばたいて行ってね、歌よ ころろよ。
わたしの日々のあれこれや逡巡する思いなんて関係なく
お預かりした大事なものが わたしの手を經由してどこかにまた羽ばたいていく。
それは仁木さんご自身にとってもそうなのかもしれないなあと思ったりします。
不思議で ありがたくて泣けてしまう。

Nさん「星屑の物語」の歌を聴いたり歌ったりできたら。二年前に作成したチラシ案の一部です。そんな街のオリジナルソングも増やしていきたいし、コロナ禍の中、できることを少しずつ・・・ですがもどかしいです。